

平成26年度における温室効果ガス等の排出の削減に  
配慮した契約の締結実績の概要

平成27年 7月 7日  
国立大学法人秋田大学

国等における温室効果ガス等の排出の削減に配慮した契約の推進に関する法律（平成19年法律第56号。以下「環境配慮契約法」という。）第8条第1項の規定に基づき、平成26年度における温室効果ガス等の排出の削減に配慮した契約の締結実績の概要を取りまとめたので、公表する。

1. 平成26年度の経緯

環境配慮契約法及び国及び独立行政法人等における温室効果ガス等の排出の削減に配慮した契約の推進に関する基本方針（平成22年2月5日閣議決定。以下「基本方針」という。）に基づき、可能なものから温室効果ガス等の排出の削減に配慮した契約（以下「環境配慮契約」という。）の締結に努めた。

2. 環境配慮契約の締結状況

基本方針で環境配慮契約の具体的な方法が定められている①電気の供給、②自動車の購入及び賃貸借、③船舶の調達、④省エネルギー改修事業（ESCO事業）、⑤建築物の建築又は大規模な改修に係る設計業務、⑥産業廃棄物処理業務のうち、秋田大学（手形）教育文化学部2号館改修その他設計業務（大規模改修）1件に係る建築物の設計業務に関して、以下のとおり環境配慮契約がなされた。

1	事業名	秋田大学（手形）教育文化学部2号館改修その他設計業務（大規模改修）
	所在地	秋田県秋田市
	建物概要	用途： 校舎 構造・規模： 鉄筋コンクリート造 2階建 930 m <sup>2</sup>
	契約年月	平成27年3月
	環境配慮に関するテーマ	環境保全・省エネルギー及び居住環境に配慮した施設・設備について。

3. その他の環境配慮契約に係る事項

- ① 建築物の建築又は大規模な改修に係る設計業務については、積極的に環境配慮型プロポーザル方式を実施するため、案件ごとに担当部門で検討している。
- ② 担当者が環境省主催の環境配慮契約法に関する説明会に参加し、担当部門での周知を図った。